

決裁区分	〇	知事決裁
		副知事専決
		部長専決
		課長専決

要登載 增刊 200部

起案昭和44年7月6日	決裁年月日 45-3.25 決裁	浄書者印	発送年月日
施行昭和 年 月 日		校台者印	
文書番号青第 号		公印使用発送承認印	

起案者 公衆衛生課 精神衛生係 秋田谷英章 庁内電話番 42/

知事	副知事	部長	次長	課長	補佐	係長	課員
内林	北村	衛生部	公衆衛生	精神衛生			
		出納長	総務部	文書	法規班		

施行上の注意

伺。精神衛生法施行細則の全部改正について。

このことについては、「精神衛生法の一部を改正する法律」は、昭和40年6月30日法律第139号を公布され、一部を除き即日施行された。またこれに伴う

決裁区分	〇	知事決裁
		副知事専決
		部長専決
		課長専決

要登載

増刷 200部

起案昭和44年7月6日	決裁年月日	浄書者印	発送年月日
施行昭和 年 月 日	45-3.25	校合者印	
文書番号青 第 号	決裁	公印使用発送承認印	

起案者 公衆衛生課 精神衛生係 秋田谷英章

庁内電話 番 42/

知事	副知事	部長	次長	課長	補佐	係長	課員
内林	梅北	衛生	衛生部	公衆衛生		精神衛生	
				秘書			
				医務業務	統務生頭	主電	
				文書	法規班		

施行上の注意

県報登載	受付昭和44年3月26日
	登載昭和44年3月31日
	番号第 号 外 号

伺

精神衛生法施行細則
の全部改正について

このことについては、「精神衛生法の一部を改正する法律」は、昭和40年6月30日法律第139号を公布され、一部を除き即日施行され、またこれに伴う

「精神衛生法施行令の一部を改正する政令」は昭和

40年6月30日政令才230号。精神紀生改施行

規則の一部を改正する旨は、昭和40年6月30日

厚生期分第36号乙も記 先此先此公布此 即日施

行されるので、関連条項を改正するため、精神医療

施行細則(昭和25年9月26日、^{青森}県規則第85号)を別

案のとおり全部改正による。同。する。

なお、法および異規則の改正の要否は別記の

とありがある。

別記

精神衛生法改正の要旨

(昭和25年 法律123号
昭和40年 法律139号改正)

法改正は (1) 都道府県に精神衛生センターを設け、(2) 精神障害者に関する申請通報制度の整備を図り、(3) 精神障害者の通院医療費の公費負担制度を新設する等と主として、次のとおり改正した。

記

(1) 県の精神病院等の設置に係る厚生大臣の承認制度の廃止

- ア 県が精神病院を設置し、廃止し、増設する場合 (オ4年)
- イ 県が指定病院を指定する場合 (オ5年) ~ 指定基準は通達
- ウ 県が精神衛生相談所を設置し、又は廃止する場合 (オ7年)

(2) 精神衛生センターの設置

- ア 都道府県に限り、精神衛生センターを任意に設置することができる。 (オ7年)
- イ 県補助に設置し、要する費用は、運営に要する費用。 (オ7年)

(3) 地方精神審議会 の設置 (法16条の2、16条の3)

(4) 精神障害者に関する申請通報制度の改正

- ア 警察官の通報範囲の拡大 (24号)
- イ 検察官 (25年)
- ウ 保護観察所の長に通報義務を課した。 (25年02)
- エ 精神病院の管理者の届出 (26年02)

(5) 緊急措置入院制度の新設 (29条の2)

措置入院者略事項 (48時間以内)

- ア 他1名の鑑定医の診断
- イ 当該変更の立合
- ウ 家族等に対する説明、通知
- エ その他1人の申請通報

(6) 措置入院の解除 (29条の4)

- ア 知事。有する措置解除に関する権限を明定した。
- イ 従前は40条に規定された知事に対する許可に、その他規定がなかった。
- イ 知事が精神病院の意見と異なるものとした。 (29年04)
- ウ 病院の管理者は措置入院がないときの面会義務 (29年05)
- 知事の病状審査権を認められた。

(7) 精神障害者に対する通院医療費の公費負担制度の新設 (32条)

公費負担 1. 精神衛生調査協議会の設置

(8) 無断退去者に対する措置の改正

- ア 精神病院 → 警察 (探索を求め) 義務制とした。
- イ 警察 → 病院 (発見した場合の通知) 義務制とした。
- ~ 24時間以内に限り保護する権限を与えた。

(9) 精神障害者に対する訪問指導制度の改正

- ア 保健所長に対し 相談と訪問指導を行うことを義務制とした。
イ 保健所に「精神衛生相談員」を設置することとした。(43条)

(10) 保護拘束制度の廃止 (旧43条)

(11) 精神衛生関係者の守秘義務規定の設置 (50条の2)

精神衛生関連医、精神病院の管理者、職員又は職員であった者、
精神衛生協会協議会等受へ1年以下懲役、3万円以下罰金
(行政担当者)

(12) 同意入院又は仮入院患者につき、入院と継続する必要があるかどうかに関する知事の審査権を随時行使できるようにした。(37条)

精神衛生法施行規則改正要案

(昭和25年9月26日規則85号)

精神衛生法・同施行令・同施行規則の改正により、旧規則(施行細則)の全部改正を行うとともに 黒訓令中47号の施行細則取扱系統を廃止する。

記

(1) 措置入院関係

- ア 措置入院解除の規定を明定し、解除書の様式を定めた。(規8条)
イ 措置入院継続不要の規定が明定されたので不要届書の様式を定めた。(規2条の13)
ウ 措置入院者の病状報告を求めることのできることを明定されたので様式を定めた。(規9条)
エ 措置入院者の保護者の変更届の様式改正 (規6条)
オ 措置入院者の死亡報告書の様式改正 (規8条)

(2) 無断退去者の報告関係

- ア 措置入院者の無断退去者のある場合の義務制に関連し知事への報告(無断退去報告書)を定めたこと (規17条の1)
イ 帰院したときの無断退去者帰院届を知事に提出すること (規17条の2)、

(3) 仮退院者の再入院届

仮退院期間中再入院させたとき仮退者入院届を知事に提出すること定めたこと。(規18条の3)

(4) 通院医療費公費負担制度関係、(新設)

ア 通院医療費公費負担申請書の様式を定めたること(規2条の(4))

イ 承認する場合に交付する患者票の様式を定めたること(規12条)

ウ 医療機関を変更する場合の届出書の様式を定めたること(規2条の(5))

エ 公費負担承認の内容の一部変更場合の申請書の様式を定めたること。(規13条)

(5) 費用徴収関係

ア 費用徴収額の認定等をも4月1日としたこと。(規10条のイ)

イ 費用徴収額の減免を申請する場合の申請書の様式を定めたること。(規11条の2)

(6) 同意入院関係

ア 精神病院の管理者の届出義務による届出様式を定めたること

入院中の患者が29年1の要件に該当すると(2条の(2))

認められるものから退院の申出があつたとき(知事への届出)(4)

イ 保護義務者の同意の規定を一部改めたること(規14条)

ウ 同意入院、仮入院者^(イ)と退院^(ロ)したとき退院届を^(ハ)知事に提出すること、様式を改めたること。(規15条)

(7) 保護拘束規定を廃止したること

病院長の報告、届出を整理したること

(8) 用語の整理をしたこと

精神病院の長 と 精神病院の管理者 に

措置入院患者 と 措置入院者 に

実費徴収額 と 費用徴収額 に

(8) 書類の保健所送付規程を設けたこと (規19条)

精神衛生法施行細則をここに公布する。

昭和四十五年四月二十一日

青森県知事 竹内俊吉

青森県規則第三十号

精神衛生法施行細則

精神衛生法施行細則（昭和二十五年九月青森県規則第八十五号）
の全部を改正する。

（趣旨）

第一条 精神衛生法（昭和二十五年法律第百二十三号。以下「法

」という。）の施行については、精神衛生法施行令（昭和二十五

年政令第百五十五号）及び精神衛生法施行規則（昭和二十五

年政令第三十一号。以下「省令」という。）に定めるもののほ

か、この規則の定めるところによる。
（申請書等の様式）
第二条 次の各号に掲げる申請又は届出の様式は、それぞれ各該

各号に定めるところによる。

一 法第三十三条第一項の規定による診療及び保護の申請書

第一号様式

二 法第三十六条の二の規定による退院申請書の届出

第二号様式

三 法第三十九条の五第一項の規定による入院継続不要認定の

届出 第三号様式

四 法第三十二条第三項の規定による費用の負担の申請

第四号様式

五 法第三十六条第一項の規定による入院の届出

第五号様式

六 省令第五十五条第五項の規定による医療を受ける病院又は診療

所の変更届出 第六号様式

(精神衛生鑑定書の提出)

第三項

第三条 精神衛生鑑定医は、法第二十七條第一項若しくは法第二

十九條の二第一項又は法第三十七條第一項に規定する診察を行な

つたときは、精神衛生鑑定書(第七号様式)を知事に提出しなけ

ればならない。

(入院命令書等の交付)

第四条 知事は、法第二十九條第一項の規定により精神障害者を

入院せしめるときは、当該精神障害者に入院命令書(第八号様式)

を交付するものとする。ただし、急遽を要する場合は、この限り

でない。

2 知事は、法第二十九條の四の規定により措置入院者(法第二十

九條中第一項の規定により入院した者をいう。以下同じ。)を

退院せしめるときは、当該措置入院者に対し、入院措置解除書(第

九号様式)を交付するものとする。

3

4

(保護義務者の提出)

出

第五条 措置入院者の保護義務者は、その住所若しくは氏名

を変更したとき又は保護義務者の変更があったときは、保護

義務者等変更届(第十号様式)を知事及び指定病院等の管理

者に提出しなければならない。

(措置入院者の病状報告書の提出)

⑤ 第六条 指定病院等の管理者は、六箇月ごとに措置入院者の病

状報告書(第七号様式)を知事に提出しなければならない。

(措置入院者の死亡報告書の提出)

第七条 指定病院等の管理者は、措置入院者が死亡したとき

は、措置入院者の死亡報告書(第十一号様式)を知事に提出し

なければならない。

(費用の徴収等)

第八條 知事は、法律三十一一年の規定により措置入院者及びその

扶養義務者から当該措置入院者の入院に要する費用(以下「費用」といふ。)を月額により認定し、徴収する。ただし、これら

の者の属する世帯の世帯員が、徴収時において生活保護法(昭和

二十五年法律第百四十四号)第十一條第一項に規定する保護を受

けている場合は、費用の徴収は行なわれない。

2 前項の規定により徴収する費用の額(以下「費用徴収額」とい

う。)は、^{別表に掲げる}措置入院者及びその扶養義務者(以下「費用徴収を

受ける者」といふ。)に係る前年分の所得税額(前年分の所得

税額が確定してない場合には、^前前年分の所得税額。以下次項

において同じ。)を合算した額の区分に応じて、^同市長に定める

額とする。

3 同一世帯に二人以上の措置入院者(当該措置入院者について、

前項の規定により算定した額が二千百円以上の者の場合に限る。

5

6

4 同一世帯に第二項の規定により算定した額が二千百円以上に

なる措置入院者のほかに、^{結核予防法}結核予防法(昭和二十六年法律第九

十六号)第二十九條の規定による入所命令患者で、自己負担額

が二千百円以上になるものがある場合における当該措置入院者

に係る費用の徴収については、^準前項の規定を適用する。

一 がある場合におけるこれらの措置入院者に係る費用徴収額は

これらの費用徴収を受ける者に係る前年分の所得税額を合

算した額を基礎として、^同前項の規定により算定した額に応じて

これらの措置入院者に比例配分した額とする。ただし、その額

がこれらの措置入院者のそれぞれについて、^同前項の規定により

算定した額をこえるときは、同項の規定により算定した額とす

る。

5 月の中途で措置入院者が入院を開始し、又は終了

する場合のその月の費用徴収額は、前三項の規定により算定した額を日割で計算した額とする。この場合において、一月未満の端数を生じたときは、それを切り捨てるものとする。

6

前四項の規定により算定した額が、法第三十条の規定により算定した額を支弁した額を二倍とするときは、その二倍の額に就いては徴収しない。

7

知事は、費用徴収額の認定換えを、毎年四月一日に行なうものとする。

(費用徴収の減免申請書の提出)

第九條 費用徴収額の減免を受けようとする者は、費用徴収減免申請書(第十二号様式)を、知事に提出しなければならない。

(患者票)

第十條 省令第五号第三項に規定する患者票は、第十三号様式によるものとする。

(公費負担変更申請書)

第十一條 法第三十二条第四項の規定による決定を受けた精神障

害者及びその保護義務者は、当該決定の内容を、^{にその}変更しようとするときは、^{の決定を申請}

とすると、精神障害者通院医療費公費負担変更申請書(第

十四号様式)に患者票を添えて知事に^{提出}申請しなければならない。

(退院命令書の交付)

(精神病院以外の病院に精神病患者が
移り住んでいるものを含む。以下同じ。)

第十二条 知事は、法第三十七條第一項の規定により、精神病院の

管理者に対し、法第三十三條又は法第三十四條の規定により入院し

た精神障害者若しくは精神障害者の疑いのある者(以下「同意入院者」という。

を)を退院を命ずるときは、退院命令書(第十五号様式)を交付※

し、執行するものとする。

(精神障害者退院届の提出)

第十三条 精神病院に精神病院以外の病院に精神病患者が移り住んで

いるものを含む。以下同じ。の管理者は、同意入院者が退院し

たときは、精神障害者退院届(第十六号様式)を知事に提出しな

ければならない。

10

(無断退去者に係る報告)

第十四条 精神病院の管理者は、法第三十九條第一項の規定によ

り警察署長に探索を求めたときは、すみやかに無断退去者報告書

(第十七号様式)を知事に提出しなければならない。

2 精神病院の管理者は、前項の報告に係る精神障害者が帰院

したときは、すみやかに無断退去者帰院報告書(第十八号様式

)を知事に提出しなければならない。

(仮退院許可申請書等の提出等)

第十五条 指定病院等の管理者は、法第四十條の規定により措置

入院者の仮退院の許可を受けようとするときは、仮退院許可申

請書(第十九号様式)を知事に提出しなければならない。

2 知事は、措置入院者の仮退院を許可するときは、指定病院等の

管理者に対し、仮退院許可書（第二十号様式）を交付するもの

とする。

3 指定病院等の管理者は、仮退院中の措置入院者を再入院させた

ときは、仮退院者再入院届（第二十二号様式）を知事に提出しな

ければならない。

（書類の保庫所経由）

第十六条 第二十三条、第二十五条から第二十七条まで、第二十九条、第三十一

条、第三十三条、第三十四条並びに前条第三項及び第三項の規定

により知事に提出する書類は、所管の保庫所長を経由しなけれ

なければならない。

附 則

この規則は、昭和四十五年四月一日から施行する。

2 この規則施行の際現に改正前の精神衛生法施行規則

の規定により提出されている書類は、改正後の精神衛生法

施行規則の相当規定により提出された書類とみなす。

— 11 —

— 12 —

別表

費用徴収額 ~~の決定基準~~

精神障害者等の所得税の合算額(年間)		費用徴収月額
6,600円未満		0円
6,600円以上	11,040円未満	2,100円
11,040円以上	17,880円未満	3,000円
17,880円以上	25,680円未満	3,500円
25,680円以上	33,720円未満	4,500円
33,720円以上	42,000円未満	5,500円
42,000円以上	51,000円未満	6,500円
51,000円以上	62,520円未満	7,500円
62,520円以上	74,520円未満	8,500円
74,520円以上	87,120円未満	9,500円
87,120円以上		全額

様式/号様式

年 月 日

青森県知事

殿

申請者住所

氏名

~~住所~~

年 月 日生

精神障害者等の^{おと}診療及び保護申請書

精神衛生法第23条第1項の規定により次に掲げる者について
精神衛生鑑定医の診療および保護を申請します。

精神障害者 またはその 疑のある者	所在地 現住所 氏名	性別 男・女	生年月日 年 月 日	職業 業
現に保護の に あつてゐる者	住所 氏名		年 月 日	職業 業
症状の 概要				
収入生活 財産 家族状況				
備考				

注 用紙は、B5判縦長とする。

第2号様式

年 月 日

青森県知事

殿

所在地

病院名

管理者 氏 名 (印)

退院申出

~~措置症状のある入院者の届出~~

次の精神障害者から、退院の申出がありましたので、精神

衛生法第26条の2の規定によりお届けします。

~~第29条第1項の要件に該当する者と認められるので、同法~~

精神障害者	住所					
	氏名	性別	男・女	生年月日	退院年月日	
保護義務者	住所					
	氏名	続柄				
入院年月日	年 月 日					
症状の概要						
退院の申出理由						

注 用紙は、B5判縦長とする。

第3号様式

年 月 日

青森県知事

殿

所在地

病院名

管理者 氏 名 (印)

認定

~~措置入院者~~ ~~入院継続不要届~~

次の措置入院者は、~~措置症状のある入院者と認められます~~

ので、精神衛生法第27条の5第1項の規定によりお届けします。

措置入院者	住所					
	氏名	性別	男・女	生年月日	年月日	
保護義務者	住所					
	氏名	続柄				
措置解除年月日	年 月 日	措置年月日	年 月 日	解除年月日	年 月 日	
病名 および 現在の症状						
解除後の 治療計画						
訪問指導 についての 意見						

注 用紙は、B5判縦長とする。

様式第 号

年 月 日

為 知 事

殿

申請者住所

氏名

印

精神障害者通院医療費公費負担申請書

精神衛生法第 条第 項の規定により通院医療費の公費負担を申請します。

精神障害者 申請者の氏名	性別 生年月日	男 女	年 月 日	住所	※ 印
被保険者等の別	国民(本人・家族), 日雇(本人・家族), 国民(世帯主, 家族) 船員(本人・家族), 生保(保険受給中, 保険申請中), 労災, 各種共済(本人・家族), その他()				※ 申請受理 年 月 日
保護義務者	住所	続柄			※ 印 重軽傷号
住所 ※ の意見	氏名				※※ お断り 会費見 可 否

記入上の注意

- 「被保険者等の別」の欄には、該当欄を○でかこむこと。
- 「保護義務者」の欄には、申請者以外の方の場合、
記入すること。 (精神障害者が申請する)
の住所および氏名
- ※印欄には、申請者は記入しないこと。

注 用紙は B5判縦長とする。

様式5号(表)

年 月 日

青森県知事

殿

所在地

病院名

管理者 氏 名 印

精神障害者入院届

次の者を
精神衛生法第33条(第34条)の規定により入院させ
したため、^同法第36条第1項の規定によりお届けします。

入院者	住所					
	氏名		性別	男・女	生年月日	年 月 日
同意者	住所					
	氏名		続柄			
診察年月日	年 月 日	入院年月日	年 月 日			
病 名						
症状の概要						
入院費の負担区分	社会保険・国民保険・生活保護・自費・その他					

(裏)

年 月 日

病院管理者

殿

~~同意者~~住所
氏名
続柄

年 月 日生

同意書

精神衛生法第33条(第34条)の規定により入院させる
ことに同意します。

精神障害者 またはその 疑いのある者	本籍		氏名			
	現住所		性別	男・女	生年月日	年 月 日
入院 する医療機関	所在地		名称			

注 用紙は、B4判横長とする。

様式第6号

年 月 日

事務長様

殿

患者住所

氏 名

印

医療機関変更届

通院医療機関を変更したいので、精神衛生法施行規則第5条
第5項の規定によりお届けします。

精神障害者 氏名	住 所					
	氏 名		性別	男・女	生年月日	年 月 日
患者番号	寄 附 号	有効期間	年	月	日	から 年 月 日まで
医療機関名	現在通院 している 医療機関名		変更しようとする 医療機関名			
変更しようとする 理 由						
変更年月日	年 月 日					

注1. 患者票を添えて提出すること。

又 用紙は、B5判縦長とする。

鑑定の場合	被鑑定者の本籍	被鑑定者の出生地	被鑑定者に関する陳述者	氏名	年齢	続柄	住所
患者名	男・女	明治昭和	年	月	日生	患者職業	
(1) 主な精神障害	患者の住所						
(2) 合併精神障害	保護義務者						
(3) 合併身体疾患	氏名・続柄						
(2) (生活歴及び発病前状況等)							
(3) (現病歴)							
(発病 年 月 日) (初診 年 月 日) (入院 年 月 日)							
(4) 問題行動	A	B	(5) 現在の状態像 (該当のローマ数字及び算用数字を○で囲むこと。)				
1 殺人 2 傷害	I	I	I 抑うつ状態 (1 思考、運動制止 2 刺激性、興奮 3 憂うつ気分 4 その他 ())				
3 暴行 4 脅迫							
5 自殺企図	II	II	II そう状態 (1 行為心迫 2 多弁 3 感情昂揚、刺激性 4 その他 ())				
6 自傷 7 破衣			III 幻覚妄想状態 (1 幻覚 2 妄想 3 他の思考障害 ())				
8 不潔							
9 放火 10 ろう火	III	III	IV 精神運動興奮及び昏迷の状態 (1 興奮 2 昏迷 3 拒絶 4 その他 ())				
11 器物破壊	IV	IV	V 意識障害 (1 せん妄 2 錯乱 3 もろろ 4 癡れん 5 精神(運動)発作 6 不機嫌症 7 その他 ())				
12 窃盗 13 盗癖	V	V					
14 ぶじよく							
15 強盗 16 恐かつ	VI	VI	IV 知能障害及び器質的欠陥状態 (1 白痴 2 痴愚 3 軽愚 4 痴呆)				
17 無銭飲食							
18 無賃乗車等	VII	VII	VII 分裂病等欠陥状態 (1 自閉 2 感情の鈍麻冷却 3 無為 4 その他 ())				
19 はいかい			VIII 人格の病的状態 (1 爆発 2 気分変動 3 狂言 4 発揚 5 顕示 6 情性欠如 7 意志欠如 8 抑うつ 9 自信欠乏 10 無力 11 その他 ())				
20 家宅侵入	VIII	VIII					
21 性的異状			IX 性的異常行動 (1 サディズム 2 マゾヒズム 3 フェイシズム 4 その他 ())				
22 風俗犯的行動	IX	IX					
23 無断離院	X	X	X 嗜癖及び中毒状態 (1 中毒症状 2 病的酩酊 3 嗜癖 4 その他 ())				
24 その他 ()	XI	XI	XI その他 ()				
(6) 身体症状	1 失禁 2 麻痺 (全、片) 3 言語障害 4 瞳孔異常 5 梅毒反応 (血液、リコール) 6 錐体外路障害 7 その他 ()						
精神科看護指導	(7) 要注意必要度 1 常に厳重な注意 2 随時一応の注意 3 殆んど不要						
	(8) 日常生活の介助指導 1 極めて手数のかかる介助 2 比較的簡単な介助と指導 3 生活指導を要する 4 指導の要がない						

(6) 鑑定上特に必要な場合の詳細記入欄 (ただし、精神病質、パノイア、好訴者、保護者の強い入院反対のある場合等、特に詳細なる鑑定上の記載が必要であつて、この欄が不足のときは別紙を添付する。)

年 月 日頃

年 月 日頃

年 月 日頃

A ⑩ 特殊療法等 (A Bとも該当数 (字を○で囲む))

1 特殊薬物療法
2 インシュリン療法
3 痙攣療法
4 持続睡眠療法
5 熱療法
6 駆梅療法
7 精神療法
8 作業療法
9 その他

B ⑪ 医学的総合判定 (措置、その他の入院、入院外診療に関する)

判定 見込期間
I 要措置 (措置入院中の患者の場合) 1 ()
II 不要措置 (要入院医療 2 ()
(措置入院中患者の) (要入院外医療 3 ()
場合は措置解除) (医療不要 4 ()
(特に入院必要と判定したとき)
はその要点を簡単に

以上のとおり診断する。

年 月 日 1 鑑定として 鑑定医氏名 () (印)
2 病状報告として 病院長氏名 () (印)

青森県知事

殿

医師所属施設名 () 所在地 () TEL () ()

(備考) 及び医師からの連絡欄

(行政庁における記載欄)

鑑定の場合

精神衛生吏員

診察に立ち合った場所

年 月 日 時 分

時 分 日

記入上の注意事項

(2) 生活歴及び(3) 現病歴については、各スペースの内にこだわらないで相互にはみだしてもよいこと。(4) の問題行動についてはA「最近数ヶ月間にあつた」B「今後おそれあり」別にそれぞれ該当のローマ字を○で囲み、各行動種別の算用数字を○で囲むこと。⑩の特殊療法等ではAは現在までの治療Bは今後の予定を意味すること。一般に該当の算用数字を○で囲むこと。

注 用紙はB4判横罫とす。

様式第8号

連発 号

入院命令書

住所

氏名

精神衛生法第29条第1項の規定により^{下記のとおり}入院を命ずる。

年 月 日

青森県知事



記

1 措置入院年月日

年 月 日

2 入院医療機関名

この処分不服があるときは、行政不服審査法により審査請求することが出来ます。

ア 審査請求すべき行政機関 厚生^{大臣}省

イ 審査請求期間 この処分があったことを知った日の翌日から起算して60日以内

注 附則第12条第1項第2号

様式第8号

連発 号

措置^{措置}入院命令解除書

住所

氏名

精神衛生法第29条第1項の規定に基づく^{措置}入院を

^同精神衛生法第29条の2の規定により、年 月

日を解除する。

年 月 日

青森県知事



注 附則第12条第1項第2号

様式第10号様式

年 月 日

青森県知事 殿
(病院管理者) 殿

保護義務者住所

氏名

続柄

年 月 日生

保護義務者等変更届

次に掲げる事項を変更したので、精神衛生法施行細則第5条の規定によりお届けします。

措置入院者	住 所		
	氏 名	入 院 病院名	
旧保護義務者 変更事項	変更前		
	変更後		
変更の理由			
変更年月日	年 月 日		

注. 用紙は、B5判縦長とする。

様式第11号様式

年 月 日

青森県知事 殿

所在地

病院名

管理者

印

措置入院者死亡報告書

措置入院者が死亡したので、精神衛生法施行細則第7条の規定により報告します。

死亡者	住 所					
	氏 名		性別	男・女	生年月日	年 月 日
措置年月日	年 月 日					
死亡年月日	年 月 日 時 分 頃					
死亡時の 症状の概要						
備 考						

注. 用紙は、B5判縦長とする。

第12号様式

青森県知事保健所長

殿

年 月 日

申請者住所
氏名
~~青森県~~

(印)

費用徴収減免申請書

精神衛生法施行細則第11条第2項の規定により、費用徴収の減免を申請します。
(次条の通り)

措置入院者氏名				住所			
扶養義務者氏名				住所			
措置入院年月日 お預け病院名	措置入院 年月日	年 月 日		病院名			
費用徴収額	費用徴収額		円	減免申請額	円	差引負担額	円
	減免申請理由						

注 用紙はB5判縦長とする。

第13号様式

秘

保健所名		青森県青森市		国 県 市 区 町 村	
番 号	氏 名	生 年 月 日	住 所	病 名	第 1 次 患 者
被 保 險 者	健 保 (本人、家族)、日雇 (本人、家族)、 国保 (世帯主、その他)、船保 (本人、家族)、 生保 (保護受給中、保護申請中)	年 月 日	年 月 日	性 別	男 女
交 付 年 月 日	※ 承 認 年 月 日	年 月 日	年 月 日	診 察 日 時	年 月 日
有 効 期 間	※ 承 認 年 月 日	年 月 日	年 月 日	診 察 日 時	年 月 日
担 当 医 療 機 関	※ 承 認 年 月 日	年 月 日	年 月 日	診 察 日 時	年 月 日
の 名 称	※ 承 認 年 月 日	年 月 日	年 月 日	診 察 日 時	年 月 日
保 護 義 務 者	氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名
備 考	精神衛生法第32条の規定による医療費 公費負担の申請は承認されませんので たので通知します。				
承 認 年 月 日	承 認 年 月 日	承 認 年 月 日	承 認 年 月 日	承 認 年 月 日	承 認 年 月 日
法 第 3 2 条 該 予 算 上 の 理 由	精神衛生法第32条の規定による医療費 公費負担の申請は承認されませんので たので通知します。				

注 承認のときは、不承認の欄を、不承認のとき、承認の欄を斜線で抹消すること。

2. 用紙はB5判縦長とする。

第14号様式

年 月 日

市庁長官

殿

申請者住所

氏名

続柄

(印)

精神障害者通院医療費公費負担変更申請書

精神衛生法第32条第4項の規定による通院医療費の公費負担の決定の内容^{について}と^{を受け}次のとおり変更^{を受け}たいので、精神衛生法施行細則第11条の規定により申請します。

患者番号	市庁番号	患者の 有効期間	年 月 日から 年 月 日まで	病名	
氏名		性別	男 ・ 女	住所	
生年月日		年 月 日			
変更 ^{を受け} とする内容					
変更 ^{を受け} とする理由					
医師の意見					

注 用紙は、B5判縦長とする。

第15号様式

通院番号

退院命令書

所在地

病院名

管理番号

精神衛生法第37条第1項の規定により、次の者を

年 月 日で、退院させることを命ずる。

年 月 日

市庁長官

(印)

住所			
氏名		性別	男 ・ 女
生年月日	年 月 日		
理由			

第16号様式

年 月 日

青森県知事

殿

所在地

病院名

管理者氏名

⑤

精神障害者退院届

次の
精神衛生法第33条（第34条）の規定により入院した精神障害者（またはその疑いのある者）が、退院したのでお届けします。

退院者	住所					
	氏名			性別	男・女	生年
保護者等	住所					
	氏名				続柄	
入院年月日	年 月 日	退院年月日	年 月 日			
病 名						
退院時の 症状の概要						
訪問指導に ついても意見						

注. 用紙は、B5判縦長とする。

第17号様式

年 月 日

青森県知事

殿

所在地

病院名

管理者 氏 名 (印)

無断退去者報告書

次の者が無断退去し、行方不明になりましたので、精神衛生法施行細則第14条第1項の規定により報告します。

無断退去者	本籍地					
	住所					
	氏名	性別	男・女	生年月日	年 月 日	
保護義務者	住所					
	氏名	病 名				
病 名	× 院別 入院年月日		措置	同意	その他 年 月 日	
無断退去年月日	年 月 日 午 前後 時 分 頃					
無断退去時の 症状の概要						
特に公衆上の危険 があると思われる事項						
無断退去時の 人相・服装等						

注 用紙はB5判縦長とする。

第18号様式

年 月 日

青森県知事

殿

所在地

病院名

管理者 氏 名 (印)

無断退去者帰院報告書

年 月 日づけの^{に係る次の}報告をした無断退去者が帰院したので、精神衛生法施行細則第14条第2項の規定により報告します。

無断退去者	住所					
	氏名	性別	男・女	生年月日	年 月 日	
無断退去年月日	年 月 日 午 前後 時 分 頃					
帰院年月日	年 月 日 午 前後 時 分 頃					
発見場所	発見場所					
備考						

注 用紙はB5判縦長とする。

第19号様式

年 月 日

青森県知事

殿

所在地

病院名

管理者 氏 名 印

仮退院許可申請書

次の者を仮退院させたいので、精神衛生法第40条の
規定により^{仮退院の許可を}申請します。

仮退院者	帰住地			措置入院 年月日	年 月 日
	氏 名		性別 男・女	生年月日	年 月 日
保護義務者	住 所				
	氏 名		続柄		
病 名					
精神病床 利用状況	許可病床	床	× 院患者	入	
仮退院理由					
仮退院年月日	年 月 日	仮退院 予定期間	年 月 日	から	年 月 日まで
仮退院期間中の 治療計画					
症状の概要					
今後の見通し					
指導方針					
訪問指導に ついての意見					

注、用紙は、B5判縦長とする

第20号様式

指令 号

仮退院許可書

所在地

病院名

管理者

精神衛生法第40条の規定により 年 月 日付けで

申請のあった仮退院~~申請~~について次のとおり許可する。

年 月 日

青森県知事

印

仮退院者	帰住地		
	氏 名		
仮退院 許可期間	- 年 月 日から 年 月 日まで		
入院時基本診 療料額日数	日		
備考			

注、用紙は、B5判縦長とする。

案ノ1号様式

年 月 日

高井厚知事

殿

所在地

病院名

管理者 氏 名 (印)

仮退院者再入院届

年 月 日指令箋

号で仮退院を許可

された次の者を、再入院させたので、精神衛生法施行細則第15条第3項の規定によりお届けします。

仮退院者	住所				指置入院 年 月 日	年 月 日
	氏 名		性別	男・女	生 年 月 日	年 月 日
保護義務者	住所					
	氏 名				続柄	
仮退院の許可期間	年 月 日から 年 月 日まで					
再入院年月日	年 月 日					
再入院時の 病状の概要						

注 用紙はB5判縦長とする。

